vol.103　2023年 8月

眼科へ行こう 眼を護ろう

自覚症状がないまま、徐々に進行する 目の病気

糖尿病患者さんの５人に１人は、糖尿病網膜症の恐れがあります

糖尿病と診断されたら、自覚症状がなくても　年１回 は眼科を受診しましょう

進行過程	網膜症なし	糖尿病網膜症		
		初期 単純網膜症	中期 増殖前網膜症	末期 増殖網膜症
受診頻度	１年に１回	６か月に１回	２か月に１回	１か月に１回
自覚症状	自覚症状ほとんどなし　見え方もほとんど変化なし			「かすむ」「ゆがむ」「かける」の症状があらわれ、末期には視力の低下や飛蚊症が起こります
治療方法			網膜光凝固術	網膜光凝固術、硝子体手術

眼科で受ける検査

視力：ものが見えにくい、二重に見える、左右で見え方が違うなどの症状を調べます。

眼圧：風を当て目の表面を一時的にへこませ、元に戻る時間から眼圧を測定します。
房水で保たれている眼球内圧を測定し、高眼圧症や緑内障などを調べます。

細隙灯顕微鏡検査：細隙灯と呼ばれる拡大鏡を使い、帯状の光を当て調べます。
まぶた、角膜（黒目の表面）、結膜（白目の表面）、虹彩（茶目）、水晶体（レンズ）などの傷や炎症、そして緑内障、白内障など、多くの目の病気が診断できます。

眼底検査：眼底鏡や眼底カメラを使って、目の奥の眼底部分の血管や網膜、視神経を調べます。